

第2章

アンテナ部品を知ろう

アンテナからテレビのアンテナ端子までには、たくさんの部品が使われます。本書では、これらをアンテナ部品と呼んでいます。各部品の特徴を知り、損失の少ない組み合わせを考えてみましょう。

■ 分配器と分岐器 ■

▶ 分配器とは

分配器はアンテナ・ケーブルを2本以上に分配するためのアンテナ部品です。一つのアンテナを複数のテレビで使う場合に使います(図2-1、写真2-1)。

分配器の損失はdB(デシベル)で表し、2分配器だと、およそ4dB(UHF帯)の損失になります。分配数(分ける数)が多いほど分配器での損失が大きくなります(表2-1)。このため、必要以上に分配数の多い分配器は使用しないで、なるべく、最小限の分配数の分配器を使用します。

分配器を購入する場合は、分配数のほかに対応している放送波の種類や、信頼できるメーカーの製品であるかも確認します。地上デジタルのみを受信するのであれば、UHFに対応した分配器を使用します。

現在、市販のほとんどの分配器が、UHFに対応していますが、BS放送や110度CS放送は、比較的高価な分配器しか対応していません。それは、表2-2に示すように、BSや110度CSで使用して周波数が高いためです。

一般的に、周波数が高くなると各部品内での損失が増えます。BSや110度CSで使用してる周波数は地上デジタル放送と比較して高いので、増加する損失を抑えるために高価な部品が使われる傾向にあります。

市販されている分配器の中には、内部で配線を単純に分けただけの簡易分配器や、分配損失が一

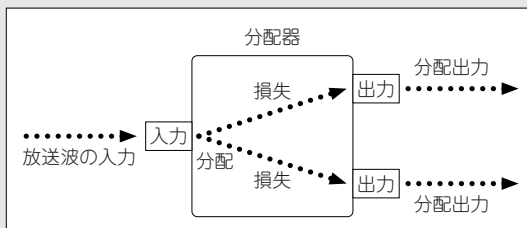


図2-1 分配器の働き



写真2-1 分配器の例(2分配器)